

Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

この件のお問い合わせは広報課へ
TEL : 092-606-0607
MAIL : kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2024・192
12月4日～12月23日

情報システム工学科 徳安達士教授が JSER 医工連携・新技術検討委員会企画において 特別講演を行いました

2024年11月28日から30日にかけて、幕張メッセ・国際会議場（千葉県）で開催された第38回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会（JSER）において、情報システム工学科の徳安達士教授が「人工知能を活用した内視鏡外科手術情報支援システムの開発」というテーマで特別講演を行いました。泌尿器科はロボット支援手術の分野で常に国内の最前線に立ち、JSERはロボット支援手術の安全性向上を目的とした教育・研究や医工連携によるイノベーション推進に注力しています。講演を聴講されたJSER理事長・武中篤先生（鳥取大学副学長・医学部附属病院長）からは、「本学会における医工連携のさらなる活発化と泌尿器領域の発展のために、ぜひ今後ともご協力をいただきたい」との要請を受けました。

徳安教授は日本内視鏡外科学会 Surgical Data Science 委員会アドバイザーと日本コンピュータ外科学会将来構想検討委員を務めており、「情報技術の社会浸透が医療にもたらした大変革の場面に立ち会う責任の重さを実感している。医学と工学の橋渡し役としての責任を果たし、医療のさらなる発展に貢献したい。」と語っています。徳安教授のもとには日本消化器学会から来年度分の講演依頼も届いており、今後さらに幅広い分野での活躍が期待されています。

日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 HP (<https://www.jsee.jp/>)



特別講演終了後に記念撮影

左から 司会の秦聡孝先生（大分大学医学部腎泌尿器外科学講座教授）、徳安先生、JSER 理事長の武中篤先生



Intuitive 社製 DaVinci SP

泌尿器外科手術用に開発された手術支援ロボット（Intuitive 社製、DaVinci SP）最先端のロボット手術では、患者の臍部に開けた 50 mm の穴にロボット鉗子を挿入し、医師が遠隔で操作を行います。

現在、ロボット手術のさらなる精緻化のために、AI を活用した情報支援の研究開発に期待が寄せられています。徳安研究室では、大分大学医学部との共同研究により、AI-Robot 手術支援の研究にも着手しています。

